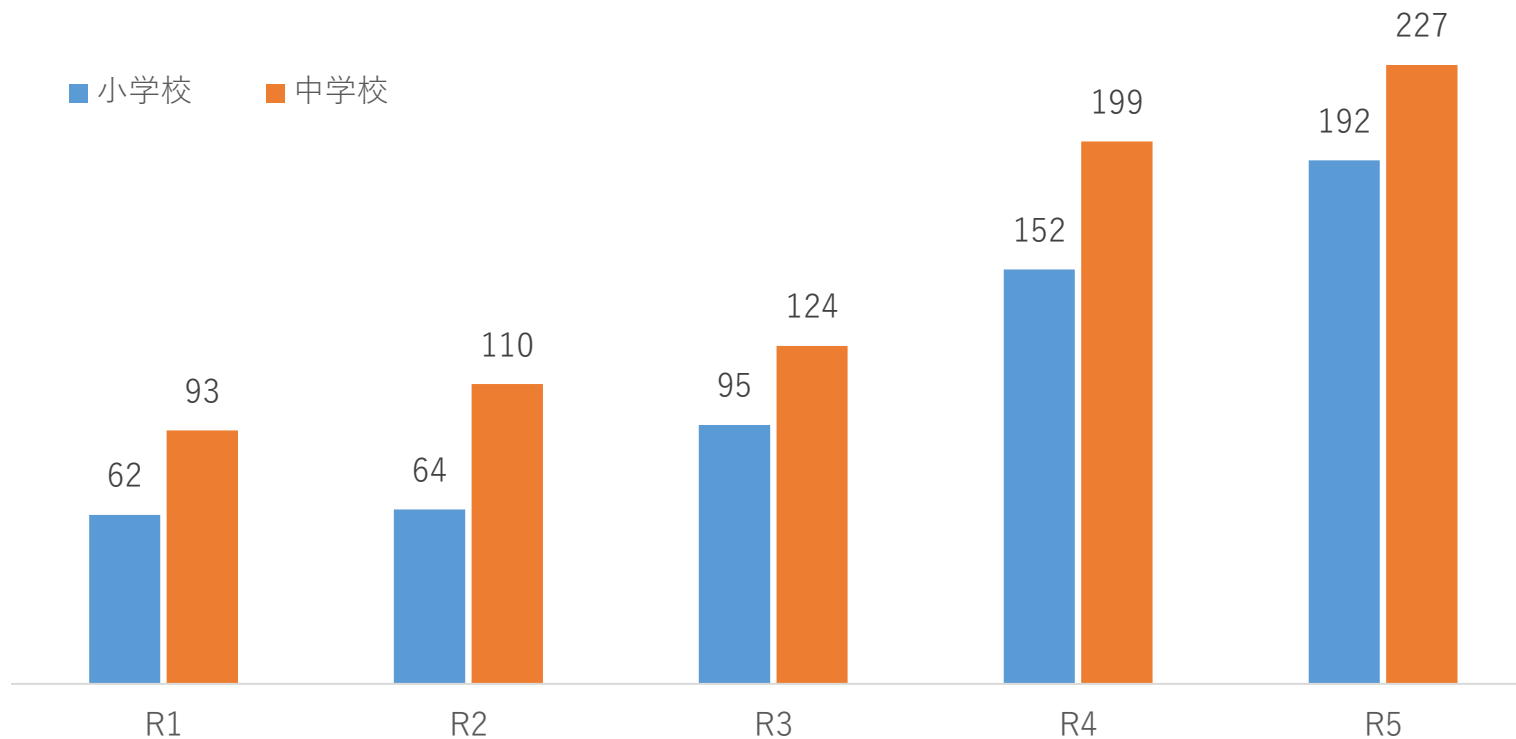


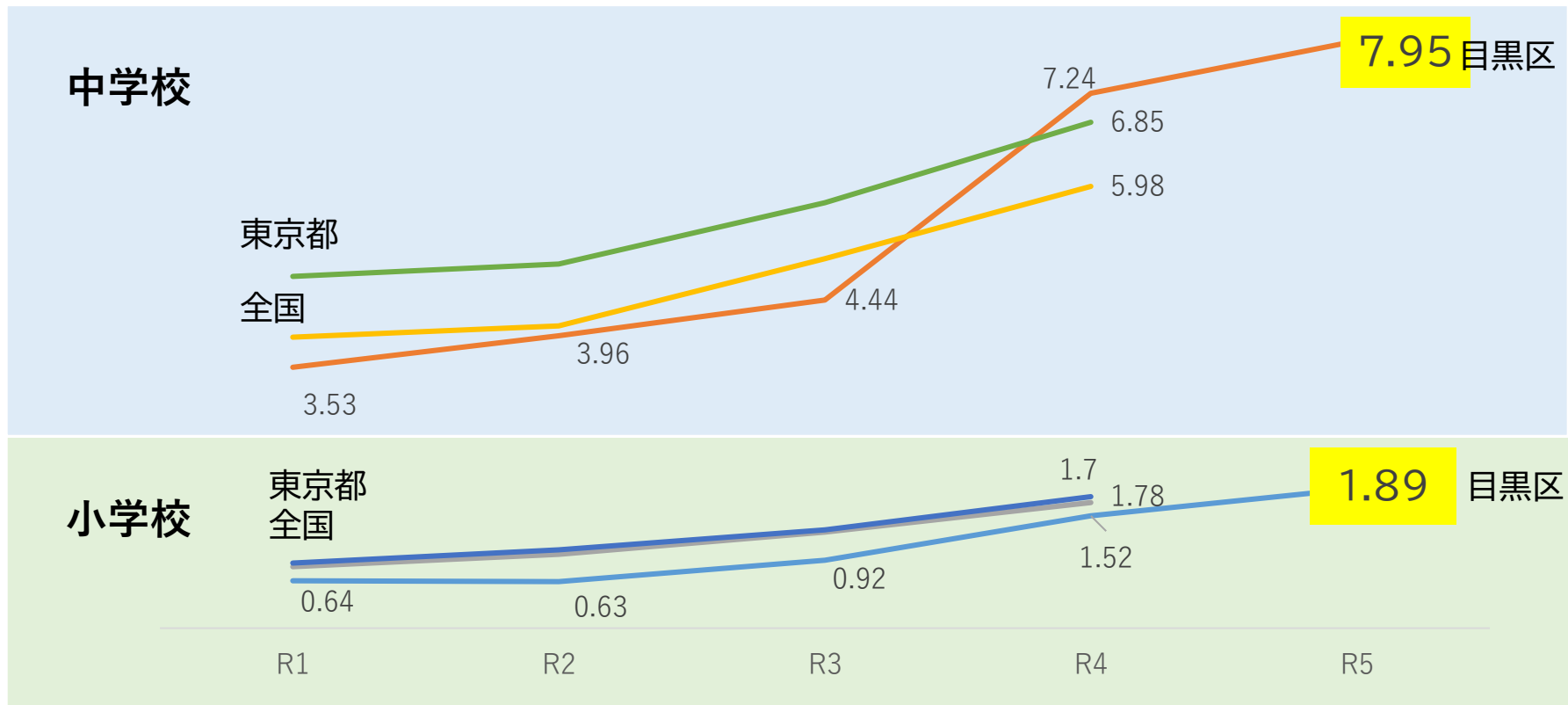
目黒区における不登校・児童・ 生徒の支援の現状について

1 不登校児童・生徒数の推移



	R 1 (2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
小学校	6 2	6 4	9 5	1 5 2	1 9 2
中学校	9 3	1 1 0	1 2 4	1 9 9	2 2 7

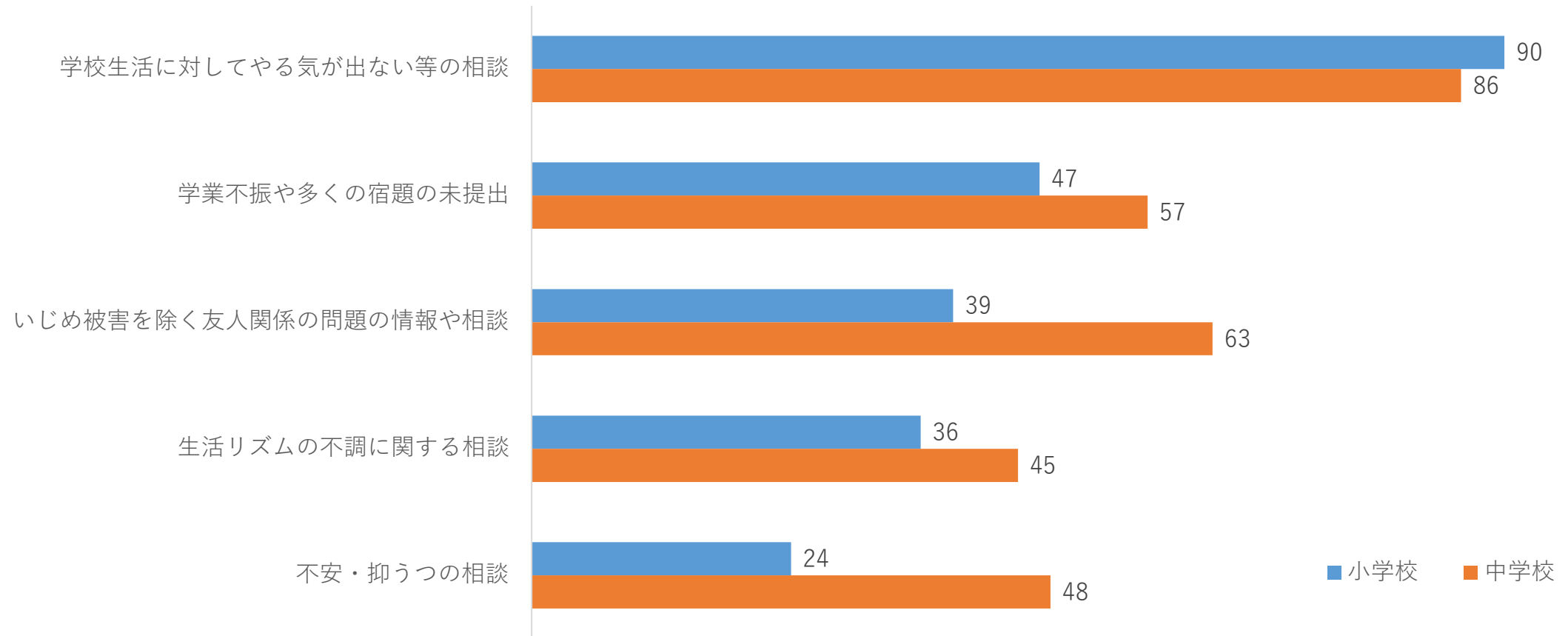
2 不登校出現率



目黒区	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	(%)
小学校	0.64	0.63	0.92	1.52	1.89	
中学校	3.53	3.96	4.44	7.24	7.95	

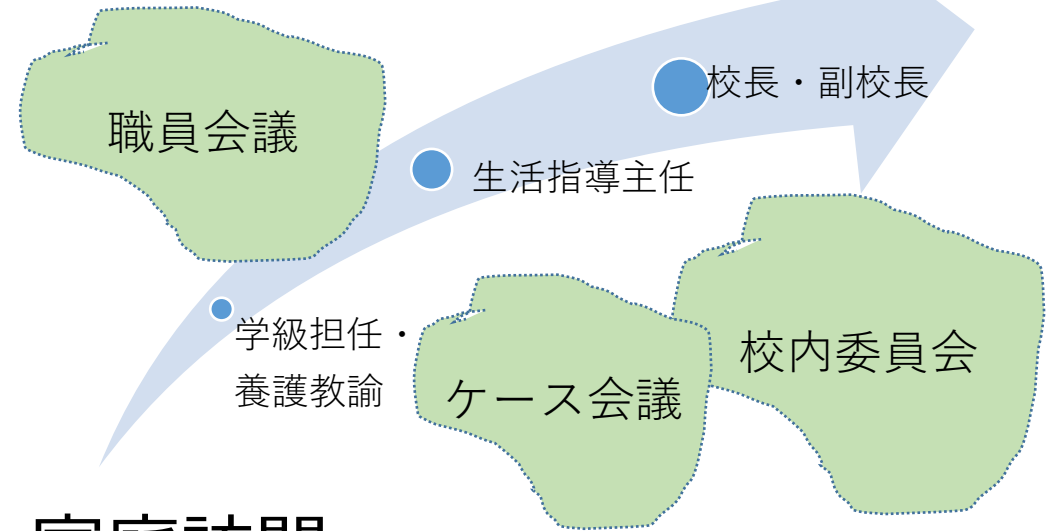
3 不登校の要因

R5 不登校児童・生徒について把握した事実（複数回答）



4 校内支援体制

校内で情報共有し、組織的に対応しています。



○学級担任

- ・家庭から本人の状況を聞き取る。
- ・保護者との連携を図る。
- ・本人の状況に応じて、電話連絡、家庭訪問、プリント配布、オンライン個別面談・授業配信など行う。

○養護教諭

中立的立場でゆっくりと丁寧に相談にのる。

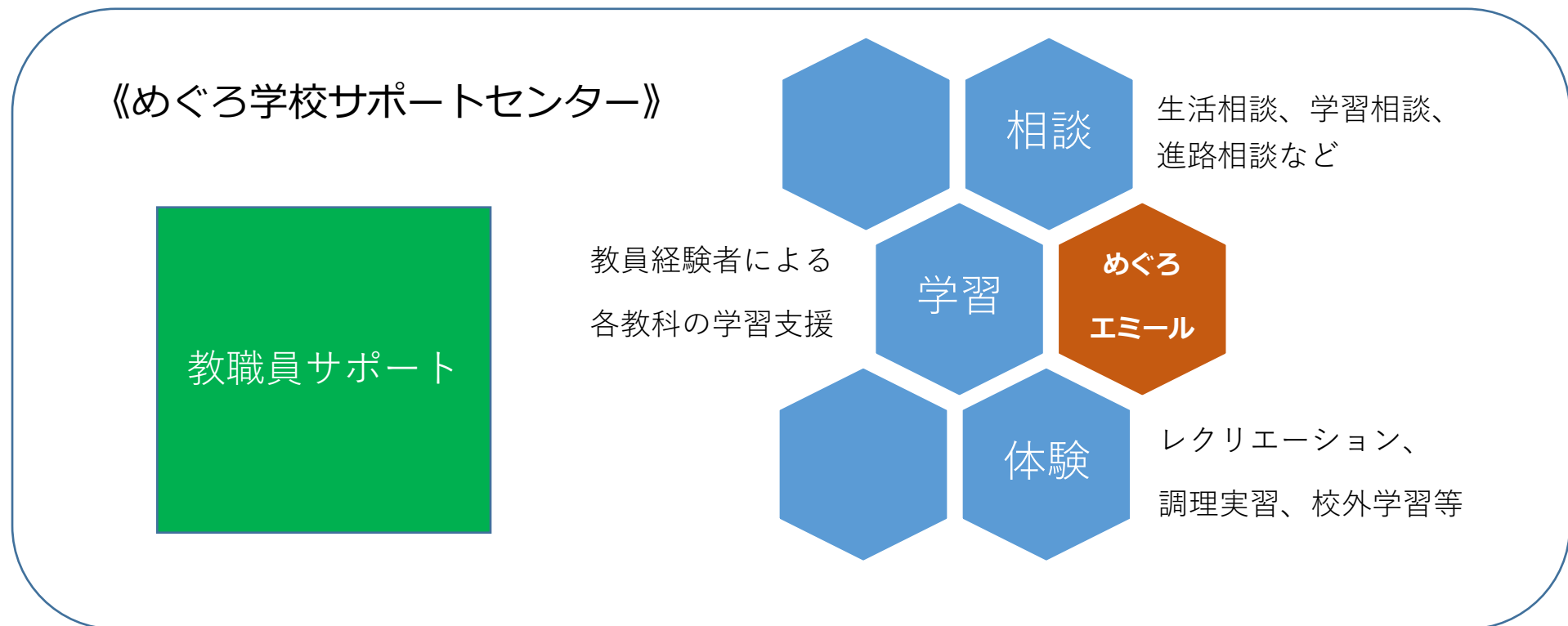
○スクールカウンセラー

人間関係その他、様々な相談を受ける。

5 区の取組

● 学習支援教室“めぐろエミール”

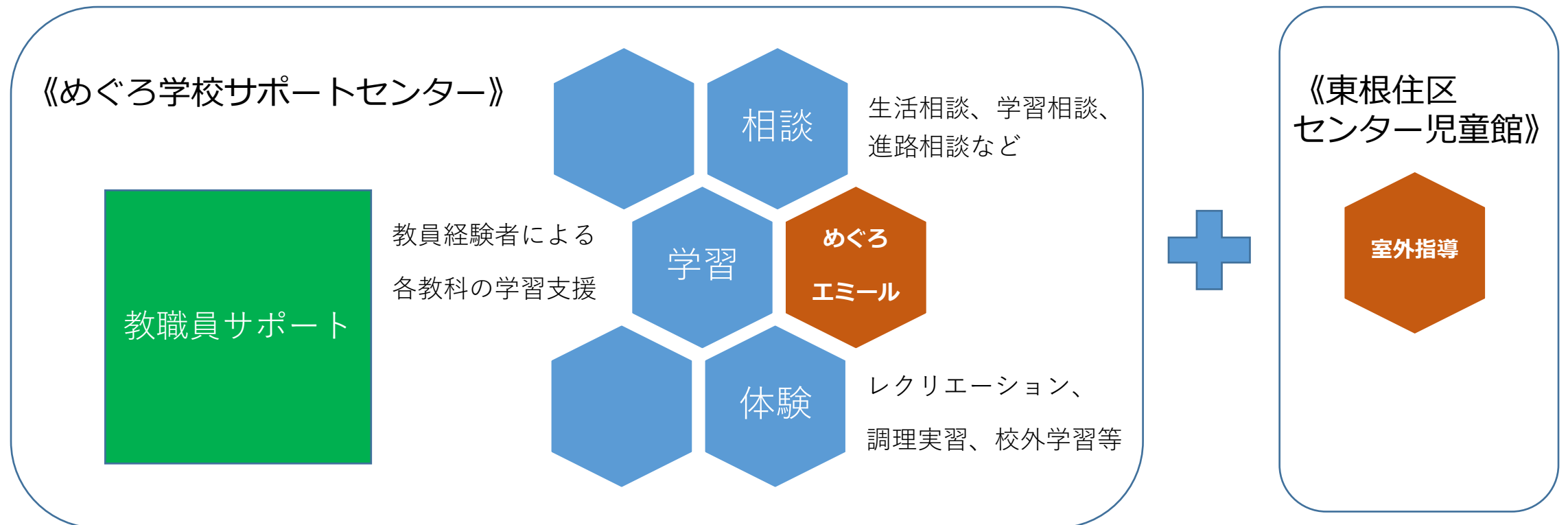
- 平成7年6月不登校の中学生対象の「適応指導教室」として開設
- 長期欠席の児童・生徒の学習支援教室となり居場所機能も充実



5 区の取組

●“めぐろエミール”室外指導

- 令和6年5月東根住区センター児童館内での室外指導を開始
- 開室時間 (月)~(金) 10:00~12:00



5 区の取組

●メンタルフレンド

- 平成10年9月～開始
- 登録者は、心理学、教育学などを学ぶ大学生17名。
- 希望に応じて、長期欠席児童・生徒の自宅や学校、学校サポートセンター内で、話し相手や相談相手となってくれる。
- 身近な存在との関わりで自身を見つめ直し、人や社会との関わり方を身に付けていきます。

5 区の取組

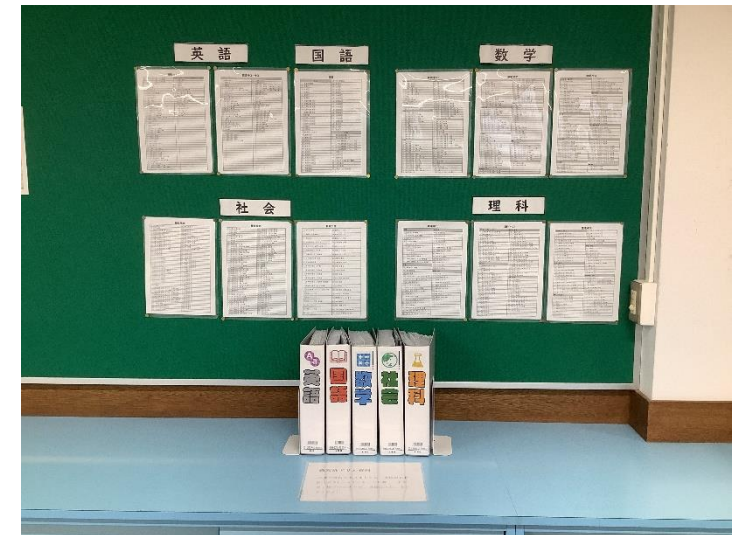
● 校内別室登校支援

- 令和5年度から、区立中学校での取組を開始
- 教室以外の校内の別室であれば登校できる生徒への支援策
- 現在、区立中学校全校で様々に取組中



コミュニケーションエリア

個別学習エリア



自習用学習プリント

5 区の取組

●不登校対応巡回教員

- 令和6年度は、第十一中学校を拠点校として各校を巡回
(第七中学校、第九中学校、第十中学校、大鳥中学校)
- 週に一日各校に勤務し、不登校生徒への対応をしている
- 主に「校内別室の充実」「不登校生徒への指導・相談」「各校の不登校対策の充実」等を行っている。

※ 第八中学校には不登校対応加配教員が配置されており、自校の不登校対策を主に行っている。

5 区の取組

●めぐろ学校サポートセンターでの教育相談

- スクールカウンセラーを兼務している教育相談員13名が、児童・生徒や保護者と電話相談や来所相談をしている
- 月曜日から土曜日までの9時～17時に実施

●スクール・ソーシャル・ワーカーによる相談

- スクール・ソーシャル・ワーカー4名が、各校からの要請を受け、福祉的な支援を行うため、学校・保護者・関係機関と連携を図りながら、児童・生徒の様々な課題に対応している

5 区の取組

●教育用情報端末を活用した相談受付事業

- 自分から先生やスクールカウンセラーに声をかけづらいときに利用する
- 児童・生徒自身が教育用情報端末を使って、相談したいことや相談したい相手などを送信する
- 教育委員会が受信し、各校や教育相談員に情報提供して児童・生徒の話を聞く
- 令和6年7月から実施



5 区の取組

●不登校児童・生徒の保護者のためのガイド

- 令和6年4月公表、Home & Schoolにて周知
- 区公式ウェブサイト



不登校 ガイド



【目次】

- はじめに
- 不登校の支援について
- 不登校についての捉え方
- 不登校との向き合い方
- 子どもを見る際のポイント
- 相談や支援機関等
- 保護者の声
- おわりに

「はじめに」より

…
このガイドは、お子さんの不登校について悩む保護者の皆さんに寄り添い、一緒に不安と向き合う人がいることを知っていただき、保護者を支える一助となることを切に願い作成しました。